

Mercury-LAVIS オプション追加編 目次

オプションプログラムの追加時には、プロテクトの更新の後に、最新プログラムにアップデートします。

プロテクトの更新を おこないます 1

- 1 ネット認証ライセンス(占有)の更新..... 2
- 2 プロテクト Q&A 3

Mercury-LAVIS を アップデートします 7

- 1 インストール方法を確認します 8
- 2 「スタンドアロン」のアップデート手順 9
- 3 「サーバークライアント」のアップデート手順 11

FCコンシェルジュでプログラムを更新することもできます

本書では「インストールDVD」を利用したプログラムの更新手順を解説していますが、「FCコンシェルジュ」を利用して、最新プログラムに更新することもできます。

※Mercury-LAVIS ご契約中のサービスです。

FCコンシェルジュ

FCコンシェルジュ

ご案内 スクール予約 **プログラム更新** ネット認証ライセンス 保守契約特典

プログラム更新メニュー

最新版プログラムのダウンロード

最新プログラム及び最新版システムのダウンロードはこちらから。

本サービスは、FCメンバーシップ **安心パック** または **プログラム保守** をご契約の方専用のサービスとなります。
※保守契約期限内に最新版をダウンロードいただけますようお願いいたします。
※マーキュリーフレンドリーサービスも対象となります。

- **建築**
 - ARCHITREND ZERO
 - ARCHITREND
 - 1/4フォーマットエディション
 - ARCHITREND Modelio
 - 宅地分譲シミュレーション
 - ARCHITREND VR
- **ビル**
 - GLOBE
 - J-BIM施工CAD
 - GLOBE VR
- **土木**
 - EX-TREND 測量
 - TREND-POINT
 - TREND-CORE
 - TREND-CORE VR
 - TREND-FIELD
 - 圖版作成・連携ツール
- **測量**
 - TREND-ONE
 - BLUETREND XA
 - TREND REGIC
 - 電子納品ツール
 - TREND-POINT
 - TREND-FIELD
 - Mercury-ONE
 - Mercury-Evolute

ご利用中のプログラムを最新ビルドに更新します。

✓ **自動で更新する**
ソフトウェアの自動更新

自動更新設定 ロールバック

● **個別ダウンロード**
マスター/テンプレートの更新
自動更新がうまくいかない方へ

● 各サービスは、保守サポートサービス「FCメンバーシップ」または「マーキュリーフレンドリーサービス」のご契約内容に応じてご利用いただけます。
● 「FCメンバーシップ」のプロテクト・マニュアル交換保証サービスの申請は、こちら **建築・ビル製品 / 土木・測量製品** からお願いします。
● プログラムのセットアップ作業依頼のお申込みは、次の作業依頼書をご利用ください。 **建築製品用 土木製品用 測量製品用** (Mercuryシリーズ用)
● 「マーキュリーフレンドリーサービス(MFS)」の内容については **こちら** をご覧ください。

● FCコンシェルジュヘルプ ● プライバシーポリシー ● ソフトウェア使用許諾契約書

© FUKUKOMPUTER GROUP

FCコンシェルジュの「プログラム更新」から更新するプログラムのボタンをクリックします。

表示される画面にしたがって、「プロテクトの更新(書き換え)」と「最新版プログラムのダウンロード」をおこない、最新プログラムに更新してください。

セットアップの前に確認してください



Check

セットアップ時の権限について

プロテクトおよび各プログラムをセットアップする場合は、Administrators グループに所属しているユーザーや、「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンする必要があります。



Check

セキュリティソフトによる警告について

お使いのセキュリティソフトによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。警告が表示された場合には、セキュリティソフトなどの常駐プログラムを終了してから、セットアップをおこなってください。



Check

データのバックアップをおこなってください

セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。バックアップの手順については、各ヘルプ、またはマニュアルをご覧ください。

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体(HDD、CD、DVD など)に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

プロテクトの更新をおこないます

オプションプログラムの追加購入時や、プログラムのバージョンアップ時には、まず「ネット認証ライセンスの更新」をおこないます。

各ページを参照して、ご利用されているプロテクトの更新をおこなってください。

1. ネット認証ライセンス(占有)の更新 2
2. プロテクト Q&A 3

1 ネット認証ライセンス(占有)の更新

「ネット認証ライセンス(占有)」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

Step1 | ライセンス情報の更新

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。



FCコンシェルジュを使用していない場合は画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動してください。

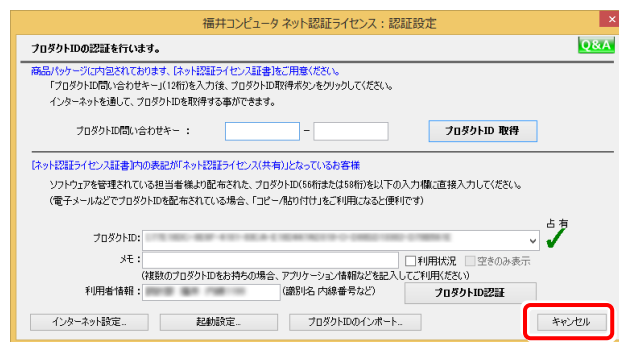


2. 「ネット認証ライセンス」の画面が表示されます。

「ネット認証ライセンス:認証設定」画面(下画面)が表示された場合は

プログラムの起動時に自動的にライセンス情報が更新されますので、更新の必要はありません。

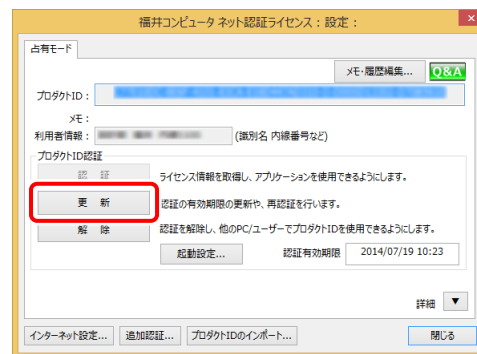
[キャンセル]ボタンを押して画面を閉じてください。



「ネット認証ライセンス:設定」画面(下画面)が表示された場合は

手動でライセンス情報の更新が必要です。

[更新]ボタンを押して、ライセンス情報を更新してください。



以上でライセンス情報の更新は完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

2 プロテクト Q&A

Q.1

ネット認証ライセンスの操作が知りたいのですが、どこかに資料はありますか？

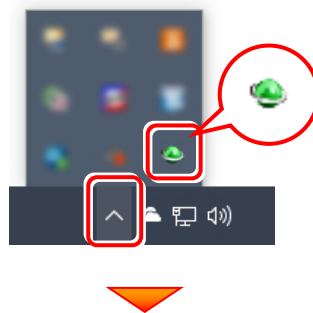
A.1

ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面から、ネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。Q&A には、ネット認証ライセンスの機能や、お問い合わせのあった内容について記載されています。

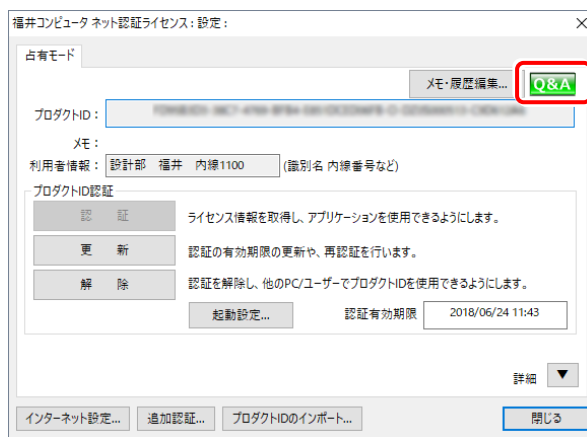
開き方

- 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

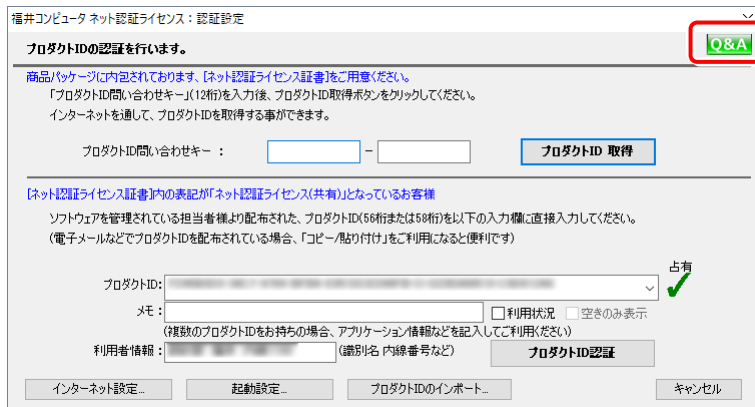


- ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。[Q&A]ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。



または

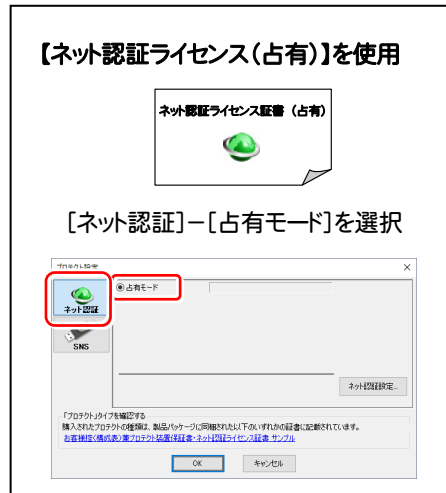


Q.2

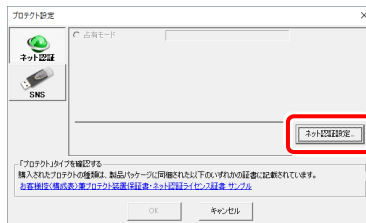
プログラムの起動時に「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。どうすればいいのでしょうか？

A.2

お使いのプロテクトを選択し、[OK]ボタンを押してください。



[ネット認証]のモードが選択できない場合は、[ネット認証設定]ボタンを押して、ネット認証ライセンスのプロダクトIDを認証してください。



Q.3

「FCコンシェルジュ」では何ができるのでしょうか？ 使い方を教えてください。

A.3

「FCコンシェルジュ」に登録していただくと、以下のようなサービスが受けられます。

- ご利用の製品に関する、最新の情報をお知らせいたします。
- ご利用の地域でおこなわれる、イベントやセミナーの情報をお知らせいたします。
- 最新のプログラムに更新することができます。

各種オンラインサービスをご利用できます。

「お知らせ」「自動更新」「サポート」など、福井コンピュータからのお知らせが表示されます。

ご利用されているお客様情報が表示されます。

※ すべての機能を利用するには、インターネット接続環境が必要です。
 ※ 画面は予告なく変更される場合がございます。

「FCコンシェルジュ」を起動させるには

デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。

－ メモ －

Mercury-LAVIS を アップデートします

プロテクトの更新または書き換えの後、最新プログラムにアップデート
します。

1. インストール方法を確認します 8
2. 「スタンドアロン」の場合のアップデート手順 9
3. 「サーバークライアント」の場合のアップデート手順 11

1 インストール方法を確認します

Mercury-LAVIS のインストール方法には、次の2種類があります。
現在ご使用中のインストール方法に合わせて、プログラムをアップデートしてください。

● スタンドアロンでご使用中のお客様

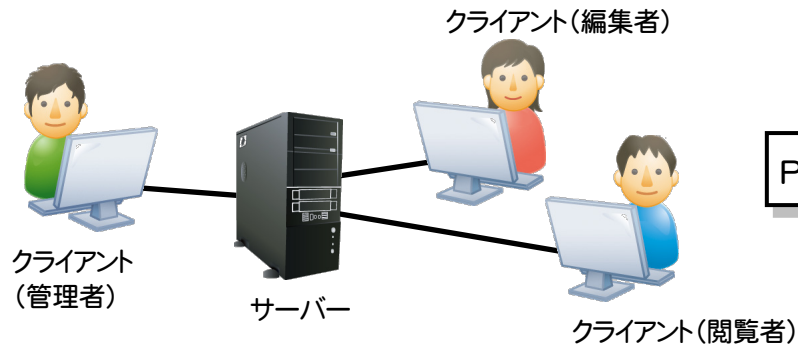
- すべてのファイルを、1台のコンピューターにインストールします。
- 1台のコンピューターで、地籍データを編集します。



P.9へ

● サーバークライアントでご使用中のお客様

- 地籍データを、サーバーで管理します。
- 複数のクライアントで、地籍データを編集します。

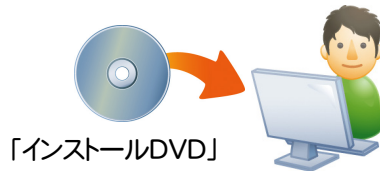


P.11へ

2 「スタンドアロン」のアップデート手順

「スタンドアロン」で使用中の Mercury-LAVIS をアップデートします。

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-LAVIS]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[スタンドアロン]タブを選択します。



[② Mercury-LAVIS]ボタンを押します。



3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



(次ページへ続きます)

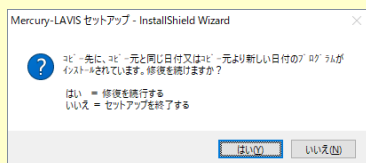
[修復インストール]を選択して、[次へ]を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールの途中で「コピー先に、コピー元と同じ日付又は～」というメッセージが表示された場合は、通常は、[いいえ]をクリックして処理を中止します。
プログラムが正常に動かないなどで修復したい場合は、[はい]をクリックしてインストールを続けます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。
誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。
「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。
再起動が必要な場合は、再起動してください。



以上で Mercury-LAVIS のアップデートは **完了** です。

3 「サーバークライアント」のアップデート手順

「サーバークライアント」で使用中の Mercury-LAVIS をアップデートします。

まずサーバーで「Step1 | Mercury-LAVIS サーバーのアップデート」をおこないます。

次にクライアントで「Step2 | Mercury-LAVIS クライアントのアップデート」をおこないます。

まず、サーバーをアップデートします

Step1 | Mercury-LAVIS サーバーのアップデート

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-LAVIS]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[サーバークライアント]タブを選択します。



[② Mercury-LAVIS サーバーインストール]ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

2. インストール環境の確認画面が表示されます。
すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ]ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[上記の全条項に同意します]をチェックして、[次へ]を押します。



[修復インストール]を選択して、[次へ]を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



(次ページへ続きます)

確認を終えたら、[閉じる]を押します。
再起動が必要な場合は、再起動します。



サーバーのアップデートは完了です。
続けてクライアントコンピューターの
アップデートをおこないます。
(次ページ「Step2」へ進みます)

ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

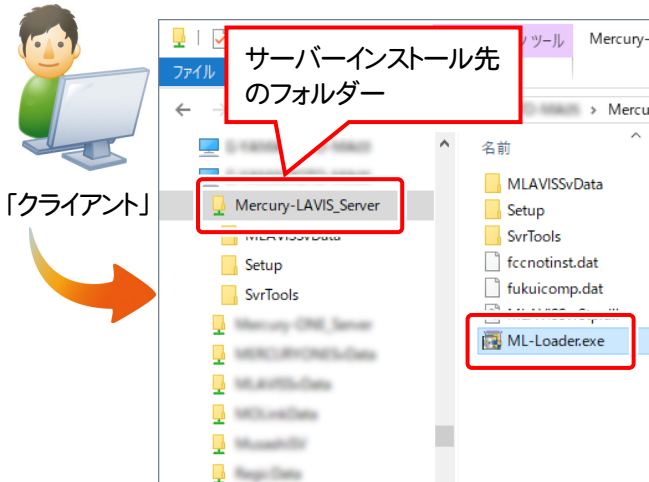
誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[\[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について\]](#)ボタンから表示される資料を参考にしてください。

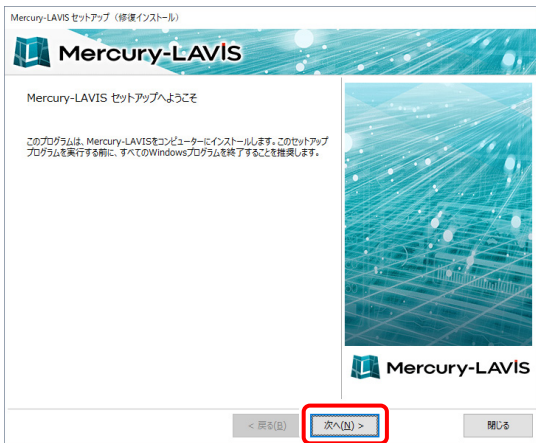
次に、クライアントをアップデートします

Step2 | Mercury-LAVIS クライアントのアップデート

1. クライアントで、エクスプローラーを開きます。
「ネットワーク」をクリックしてサーバーを参照し、サーバーインストール先のフォルダーにある、「ML-Loader.exe」を実行します。



2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



3. 「修復インストール」を選択して、「次へ」を押します。



3. インストール環境の確認画面が表示されます。
すべての項目を確認してチェックしてから、「次へ」ボタンを押します。

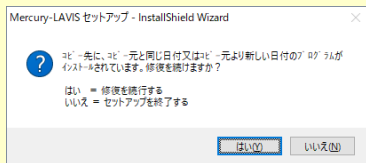


(次ページへ続きます)

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールの途中で「コピー先に、コピー元と同じ日付又は～」というメッセージが表示された場合は、通常は、[いいえ]をクリックして処理を中止します。
プログラムが正常に動かないなどで修復したい場合は、[はい]をクリックしてインストールを続けます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

以上で Mercury-LAVIS のアップデートは **完了** です。